

# 平成 27 年度中間事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

## I 世界に開かれた県民意識の向上の推進

### 【目標】

県民が、世界の人々と対等で良好な関係が築けるよう意識の向上を推進する。特に、国際社会に貢献し世界をリードする幅広い視野や国際感覚を持つ次世代を育成するため、様々な事業を展開するとともに、行政や民間団体等と連携・協力していく。

### 【目標指数】※

項目	平成 27 年度 年間目標	平成 27 年度 前期実績 (達成率)
本協会が企画する国際理解講座数	45	13 (29%)

※ 【目標指数】は、当協会第 4 期運営基本計画 (平成 23 年度～平成 27 年度) に基づく。

### 【事業実績】

#### 1 多様な交流や国際理解の推進

##### (1) 国際理解出張講座

県内の学校や公民館、学習センター、各種団体等に当協会役職員等が講師として出向き、県民を対象として、異文化や貧困、人権問題等世界規模の課題をより深く理解してもらうための国際理解講座を下記のとおり様々なテーマで実施した。

○ 講座名と実施回数 計 13 回(前年同期比 62%)

- A 世界の現状について学ぶ「世界がもし 100 人の村だったら」(2 回)
- B 世界の多様性について学ぶ「これってアリ？」(2 回)
- C 外国人の人権について学ぶ「じゃがいも君と話そう」(2 回)
- D 国際協力について学ぶ「貿易ゲーム」(4 回)
- E 環境問題について学ぶ「魚とりゲーム」(一回)
- F 外国出身県民の現状と今後の動向(一回)
- G A～F 以外で依頼者の相談に応じる講座(3 回)

○ 内訳

No	月 日	場 所	対 象	参加 人数	講座名	講師（敬称略）
1	5月7日	伊達市立伊達小学校	小学生	70	B	理事 布田節子
2	5月15日	福島大学	大学生	60	G	主事 菅本裕介
3	6月2日	福島大学	大学生	50	G	主任主査 幕田順子
4	7月1日	本宮市立五百川小学校	小学生	42	A	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
5	7月1日	本宮市立白岩小学校	小学生	45	D	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
6	7月13日	田村市立滝根中学校	中学生	45	C	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子
7	9月5日	郡山市小山田地域公 民館	一般	15	B	ふくしまユースグロ ーバルレッズ1期生 松井智宏
8	9月9日	郡山萌世高等学校	高校生	40	D	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
9	9月9日	郡山萌世高等学校	高校生	85	A	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子
10	9月9日	郡山萌世高等学校	高校生	25	G	主事 菅本裕介
11	9月10日	本宮市立糠沢小学校	小学生	29	D	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子
12	9月10日	本宮市立和田小学校	小学生	28	D	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子
13	9月15日	福島法務局	人権擁護員	36	C	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子

(のべ参加者数 570名)

(2) ふくしまグローバルセミナー2015

JICA二本松訓練所を利用し、福島県国際理解教育ネットワーク（構成団体：福島県、福島県教育委員会、JICA二本松、当協会）の主催により、県民を対象とし

て、異文化理解や国際協力、多文化共生等について考えるため、外国出身者による母国紹介や国際協力現場レポートなど幅広い内容の講座を実施した。

○ 日 時：9月26日（土）10：00～27日（日）11：50

○ 場 所：JICA二本松

○ 参加者：高校生以上一般 155名

○ 内 容：全体会、昼食/夕食交流会

セッション（「挑戦！みんなのまちづくり」他15講座）

グロセミカフェ、自主セッション（「多文化キッズキャンプin福島2015」他10講座）

### (3) グローバルコミュニティカフェ

外国語による会話を通じて、外国の言語や社会、文化等に関する理解を深めるため、ゲストスピーカーとして外国出身のふくしま多文化共生サポーター等を活用し、気軽な交流ができる機会を下記のとおり定期的に提供した。

○ 内訳

回	月 日	場 所	内 容	参加人数 (うち外国 出身者数)
1	7月18日(土) 10:00～11:30	当協会研修室	ゲストスピーカーの母語（ポルトガル語）に触れながら、ブラジルの文化等を理解する。	14(2)
2	7月18日(土) 14:00～16:00	当協会サロン	英語での話し合い（テーマ：祝日の過ごし方）を通じて、国際交流員及びゲストスピーカーの国（カナダ・オーストラリア）の文化を理解する。	13(0)
3	8月5日(土) 10:00～11:30	当協会研修室	ゲストスピーカーの母語（アラビア語）に触れながら、エジプトの文化等を理解する。	4(2)
4	8月5日(土) 14:00～16:00	当協会サロン	英語での話し合い（テーマ：祝祭日の特別料理）を通じて、国際交流員及びゲストスピーカーの国（カナダ・フィジー）の文化を理解する。	7(0)
5	9月5日(土) 10:00～11:30	当協会サロン	ゲストスピーカーの母語（タガログ語）に触れながら、フィリピンの文化等を理解する。	11(1)
6	9月5日(土) 14:00～16:00	当協会サロン	英語での話し合い（テーマ：人気の国内観光スポット）を通じて、国際交流員及びゲストスピーカーの国（カナダ・オーストラリア・アメリカ）の文化を理解する。	12(2)

(のべ参加人数 61名 うち外国出身者 7名)

## 2 グローバル社会で活躍する次世代の人材育成

### (1) ふくしまユースグローバルカレッジ 2015

概ね 39 歳以下の県内大学生及び社会人を対象として、グローバル社会で活躍する次世代の人材を育成するため、様々な世界規模の課題をテーマとする年間 5 回の連続講座のうち、下記のとおり 4 回を実施した。

回	月日及び会場	テーマ	講師 (敬称略)	参加人数(うち外国出身者数)
1	6月20日(土)10:00 ～21日(日)13:00 (宿泊) JICA 二本松	世界の多様性	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま) 竹田朋彦 (福島県国際理解教育研究会)	13(1)
2	7月25日(土) 9:30 ～16:00 当協会	世界のグローバル化	同上	18(1)
3	8月29日(土) 9:00 ～16:00 当協会	世界規模の課題	同上	9(1)
4	9月26日(土)10:00 ～27(日)15:00 (宿泊) JICA 二本松	「ふくしまグローバルセミナー2015」への参加と振り返り	同上に加え 松井智宏 (ふくしまユースグローバルカレッジ1期生)	14(1)

(のべ参加人数 54 名 うち外国出身者 4 名)

### (2) 次世代の海外研修への助成

原則として 39 歳以下の大学生や社会人を対象として、国際社会に貢献し世界をリードする幅広い視野や国際感覚を持つグローバル人材を育成するため、非営利の国際交流団体等が主催する海外研修プログラムに参加する 7 名に対し、渡航経費の一部として総額 70 万円の助成を決定した。

## Ⅱ 外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりの推進

### 【目標】

外国出身県民が、地域住民として等しく行政サービスが受けられ、地域づくりのパートナーとして活躍できるよう環境の整備を推進する。

### 【目標指数】

項目	平成 27 年度 年間目標	平成 27 年度 前期実績（達成率）
外国出身のふくしま多文化 共生サポーター活動人数	60	33 (55%)

### 【事業実績】

#### 1 安全・安心な地域づくりの推進

##### (1) 多言語による行政サービスの提供

###### 【多言語による相談窓口】

多言語相談員 1 名及び通訳員 3 名を配置し、中国語と英語は随時、韓国語、タガログ語、ポルトガル語は毎週木曜日 10:00～14:00（第 4・第 5 木曜日は予約制）に、行政サービスや在留資格など外国出身県民に関わる各種問い合わせに対応した。

○相談件数：237 件（前年同期比 95%）

○相談言語：日本語(122)、中国語(99)、タガログ語(12)、英語（3）、ポルトガル語  
(1)

○トリオフォン利用件数：7 件（前年同期比 100%）

○主な相談内容と出身国

内容 出身国	生活 全般	日本 語	交流	医療	在留 資格	労働	家族	その他	合計
中 国	41	8	9	22	14	3	5	2	104
日 本	16	28	36	2	7	2	5	9	105
フィリピン	1	2	3		1			9	16
ブラジル									0
韓 国									0
そ の 他	4	1	4			1		2	12
合 計	62	39	52	24	22	6	10	22	237

(2) 多言語による相談対応

【外国語による地震情報センター】

震災後、福島県国際課と協力して立ち上げた「外国語による地震情報センター」において、福島県の「東日本大震災関連情報」の一部を英語と中国語に翻訳して県HPにアップし、情報提供することを継続するとともに、通常の「多言語による相談」業務内で電話やメール等での相談に対応した。

○ 相談件数：2件(前年同期比12%)

○ 相談言語：日本語(2件)

○ 相談者の主な相談内容及び出身国

報道関係者からの在住外国人等被災者に関する問い合わせ(日本)

公益法人職員からの中学生被災地視察時の通訳の問い合わせ(日本)

(3) 外国の子どものサポート

平成26年度に設置した「ふくしま外国の子どもサポートセンター」を引き続き運営し、外国出身の子どもを支援するための相談対応、情報提供、日本語テキスト等の教材の貸出し等を行った。

また、原則としてこれまでサポーターの派遣実績がない市町村教育委員会からの依頼に応じて、外国の児童生徒等の学校生活への早期適応を目的としたサポーターを派遣しその活動の経費を負担するとともに、予算措置のある市町村教育委員会については、サポーターの選定及び紹介、児童生徒等の支援に関する相談対応、成果の検証等を行った。

さらに、平成26年度に設置した「ふくしま外国の子ども団体連絡会」の事務局として、支援に関わる関係団体・関係者間で講演や支援ツールに関する情報共有を行う等連携の強化を図るとともに、連絡会会員を対象とした研修会を下記のとおり開催した。

【ふくしまの外国の子ども支援団体連絡会研修会】

県内3会場において、福島大学国語学研究室と共催で、外国の子どもの支援のあり方や有効な支援方法に関する課題の検討、意見交換等を行った。

	月日及び会場	内容及び講師（敬称略）	参加人数 （うち外国出身者数）
白河会場	6月4日（木） 13:30～16:00 白河市地域交流会議室	[現状報告] ○「平成26年度福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」 報告者： （白河会場）芳賀淳（福島県県南教育事務所主任社会教育主事兼指導主事） （福島会場）菅野浩智（福島県教育庁義務教育課指導主事） （郡山会場）松原強（福島県県中教育事務所社会教育主事）	8(2)
福島会場	6月11日（木） 13:30～16:00 当協会研修室	[事例報告] ①「ムスリムの子どもたちの学校での受入れについて」 報告者：佐藤バシヤラットさん（ふくしま多文化共生サポーター）	13(1)
郡山会場	6月16日（火） 13:30～16:00 郡山市総合福祉センター	②「母語による心のケアと日本語指導の違い」 報告者： （白河会場）三田真理子（ふくしま多文化共生サポーター） （福島会場・郡山会場）佐々木千賀子（ふくしま多文化共生サポーター）	14(3)

（のべ参加人数 35名 うち外国出身者 6名）

### 【外国の子どもに対するサポーター活動のコーディネート】

外国の子どもの学校生活への適応に関わる心のケア、日本語指導などのサポーター活動について、以下のとおりサポーターの紹介及び一部の事例における活動経費の支援を行った。

なお、※は、当協会が活動経費を支援した事例である。

No	期間 (延べ時間)	場所	出身国	活動人数 (うち外国出身者数)
1	4月9日～6月9日 (40時間)	県南地方小学校	フィリピン	1(0)
2	4月23日～7月15日 (20時間)	県北地方小学校	中国	1(0)
3※	4月24日～9月10日 (49時間)	県南地方中学校	中国	1(0)

4	5月19日～10月下旬 (70時間予定)	県北地方小学校	フィリピン	2(1)
5※	5月21日～7月15日 (34時間)	相双地方小学校	中国出身	1(1)
6※	5月26日～9月24日 (52時間)	県南地方小学校	中国(2名)	1(1)
7	6月19日～7月13日 (13時間)	県北地方小学校	フィリピン	1(1)
8	6月25日～7月16日 (8時間)	県北地方小学校	中国	1(0)
9	6月26日～11月下旬 (48時間予定)	県北地方小学校	フィリピン	2(1)
10	7月2日～12月中旬 (50時間予定)	県北地方小学校	フィリピン	1(0)
11	7月3日～11月上旬 (50時間予定)	県北地方小学校	フィリピン	1(1)
12	7月9日～10月下旬 (15時間予定)	県北地方小学校	中国	1(0)
13	7月14日～11月中旬 (50時間予定)	県北地方小学校	フィジー	1(0)
14	8月25日～11月下旬 (50時間予定)	県中地方中学校	中国	2(1)
15	9月9日～12月中旬 (50時間予定)	県北地方小学校	中国	1(0)
16	9月30日～1月下旬 (50時間予定)	県北地方小学校	中国	1(0)

(のべ活動人数 19名 うち外国出身者 7名)

【外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣】

No.	月日	場所	内容	活動人数 (うち外国出身者数)
1	9月30日	県北地方幼稚園・ 小学校	シリア出身園児及び保護者 への就学準備について	1(1)

(のべ活動人数 1名 うち外国出身者 1名)

## 【外国の子ども支援活動団体の支援】

ふくしま子どもの日本語ネットワーク主催の「外国にルーツを持つ子どもたちのための土曜広場」の活動において、会場使用料の減免等のサポートを行った。

### (4) 防災訓練への参加

県主催の「平成 27 年度福島県総合防災訓練」に参加し、訓練参加団体に対して、当協会の概要、災害時に外国出身者への配慮が必要であること及びその方法等の周知を図った。

○ 日 時：8 月 30 日（日）8：30～11：45

○ 会 場：南相馬市雲雀ヶ原祭場地及びひがし生涯学習センター

○ 参加者：6 名（うち外国出身者 2 名）

○ 内 容：「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」において、通訳ボランティア役及び日本語がわからない外国人役の配置協力を行うとともに、同センターの運営、ボランティア受入れマッチング、緊急物資の荷下ろし、炊き出しブース等への搬送等の訓練を行った。

また、「指定避難所開設及び避難場所確保訓練」において、避難所で多言語対応が可能となるまでの間、外国出身避難者に対し声がけする際の言葉、配慮等について周知を図るため、「外国出身住民に易しく優しい日本語ワークショップ」を実施した。

さらに、「体験訓練及び防災啓発展示」において、当協会の資料を配付し広報等を行った。

### (5) 「福島生活（中国語版）」「Fukushima Life(英語版)」の提供

外国出身県民に対し、facebook により中国語と英語で、日本の文化や習慣、地域のイベント情報などの身近な生活情報を頻繁に提供し、福島県での暮らしをサポートした。

## 2 活力ある地域づくりに参加できる環境整備の推進

---

### (1) ふくしま多文化共生サポーターの活動促進

サポーターの登録を随時行うとともに、外部団体からの依頼に応じて適切な登録者を紹介し、また当協会主催事業においても積極的に登録者を活用するなど、その活動の促進を図った。

また、サポーター登録者等を対象としその資質の向上を図る「スキルアップ研修会」の実施に向け、準備を進めた。

【登録者数】

- 人数：194名（前年同期比 127%）
- 出身国：日本（94）、中国（34）、韓国朝鮮（14）、フィリピン（21）、タイ（5）、台湾（3）、アメリカ（2）、インド（2）、ベトナム（3）、ブラジル（3）、インドネシア・トンガ・アルゼンチン・エジプト・モンゴル・ルワンダ・ポーランド・メキシコ・パキスタン・ウクライナ・オーストラリア、フィンランド、ウクライナ（各1）

（内 訳）※複数登録あり

登録内容 居住地 (人数)	通訳・翻訳					国際理解	合計
	英語	中国語	韓国語	タガログ語	その他の言語		
県北（102）	46	22	12	11	35	47	173
県中（53）	25	16	6	3	18	29	97
県南（10）	6	2		3	3	4	18
会津（10）	4	4	1		4	5	18
いわき（9）	5	3		3	3	5	19
相双（4）	1				4	1	6
県外（6）	5	1			3	1	10
合計（194）	92	48	19	20	70	92	341

【コーディネーター数】

	カテゴリー	件数	活動人数 (うち外国出身者)
①	公的団体等からの依頼	19	31(18)
②	当協会主催事業への協力	7	10(7)
③	外国の子どもに対するサポーター活動	16	19(7)
④	外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣等	1	1(1)

合 計	43 (前年同期比 160%)	61(33) (前年同期比 197%)
-----	-----------------------	---------------------------

(内 訳)

① 公的団体等からの依頼

件数：19 件（前年同期比 146%）

活動人数：31 名（前年同期比 207%）

No	実施月日	場 所	内 容	依頼者	活動人数 (うち外国出身者)
1	4 月 17 日	伊達市役所保 原本庁舎	アルゼンチンの紹介	伊達市国際交 流協会	1(1)
2	4 月 19 日	福島移住女性 支援ネットワ ーク事務所	韓国出身者による福 島での暮らしの話	福島移住女性 支援ネットワ ーク	1(1)
3	4 月 24 日	福島県庁	マレーシア農業研修 生表敬訪問時の通訳 (英語)	(一社) 福島 県国際農友会	1(0)
4	5 月 17 日	福島移住女性 支援ネットワ ーク事務所	中国出身者による福 島での暮らしの話	福島移住女性 支援ネットワ ーク	1(1)
5	5 月 22 日	パレスいわや	第 7 回太平洋・島サミ ット・福島県知事主催 歓迎昼食会における 通訳 (英語)	福島県国際課	10(1)
6	5 月 22 日	スパリゾート ハワイアンズ	第 7 回太平洋・島サミ ット・安倍首相主催 歓迎夕食会における通 訳 (英語)	外務省	3(1)
7	6 月 2 日	—	福島空港案内翻訳(ベ トナム語)	福島県空港交 流課	1(1)
8	6 月 8 日	福島地方裁判 所	センター入所者に対 する通訳 (中国)	福島県女性の ための相談支 援センター	1(1)
9	6 月 26 日	福島空港	ベトナムチャーター 便搭乗者に対する免 税店案内の通訳(ベト ナム語)	福島県空港交 流課	1(1)
10	6 月 30 日	福島空港	ベトナムチャーター 便搭乗者に対する免 税店案内の通訳(ベト ナム語)	福島県空港交 流課	1(1)

11	7月10日	福島県立福島高校	台湾からの高校生との交流時の通訳(中国語)	(一社) Bridge for Fukushima	1(1)
12	7月11日	相馬市・浪江町	バス視察の通訳(中国語)	(一社) Bridge for Fukushima	1(1)
13	7月11日	福島移住女性支援ネットワーク事務所	ブラジル出身者による福島での暮らしの話	福島移住女性支援ネットワーク	1(1)
14	7月14日	福島家庭裁判所	センター入所者に対する通訳(中国)	福島県女性のための相談支援センター	1(1)
15	7月15日	JA福島ビル	エジプトの歴史や食文化について	JA福島中央会 あすなる会	1(1)
16	7月29日	福島運転免許センター	運転免許の切り替え(英語)	二本松市教育委員会	1(0)
17	9月2日	—	台湾チャーター便搭乗者に対する免税店案内の通訳(台湾語)	福島県空港交流課	1(1)
18	9月8日	国見町役場	住民に対する面談通訳(タガログ語)	国見町	1(1)
19	9月19日	福島市アクティブシニアセンターA0Z	事前研修の講師(英会話)	福島市国際交流協会	2(2)

(のべ活動人数 31名 うち外国出身者 18名)

② 当協会主催事業への協力

件数：7件(前年同期比 233%)

人数：10名(前年同期比 333%)

No	実施月日	場 所	内 容	活動人数 (うち外国出身者)
1	6月4日	白河市地域交流館	ふくしまの外国の子ども支援団体連絡会研修会での事例報告	2(1)
2	6月11日	当協会	ふくしまの外国の子ども支援団体連絡会研修会での事例報告	2(1)
3	6月16日	郡山市総合福祉センター	ふくしまの外国の子ども支援団体連絡会研修会での事例報告	2(1)

4	7月18日	当協会	グローバルコミュニティカフェでのゲストスピーカー	1(1)
5	8月5日	当協会	グローバルコミュニティカフェでのゲストスピーカー	1(1)
6	9月5日	当協会	グローバルコミュニティカフェでのゲストスピーカー	1(1)
7	9月26日 ～27日	JICA 二本松	ふくしまグローバルセミナー2015での講師	1(1)

(のべ活動人数 10名 うち外国出身者 7名)

③ 外国の子どもに対するサポーター活動 (P7に記載のとおり)

件数：16件 (前年同期比 200%)

人数：19名 (前年同期比 211%)

④ 外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣等 (P8に記載のとおり)

件数：1件 (前年同期比 33%)

人数：1名 (前年同期比 25%)

(2) 外国出身者コミュニティのネットワーク構築

災害時における外国出身者コミュニティの自助力・共助力の向上、情報伝達や状況把握のキーステーションとしての役割の強化を図ることを目的として、下記のとおり外国出身者コミュニティと当協会とで協働事業を実施し、外国出身者コミュニティの組織運営能力の強化及び当協会とのネットワークの構築を図った。

また、外国出身者コミュニティのエンパワーメントを目的として、外国出身者コミュニティ・キーパーソン、関係者等を対象に、県外の外国出身者コミュニティが活躍している国際交流フェスティバルの視察や県内外の外国出身者コミュニティとの情報交換等を行うバスツアーの実施に向けて、準備を行った。

No	実施月日	場 所	外国出身者コミュニティの名称 (協働先)	内 容	参加人数 (うち外国出身者)
1	7月5日(日) 10:30～12:30	郡山市労働 福祉会館	カトリック郡山 教会に通うフィ リピン出身者コ ミュニティ	講習会「給料明細書 の見方」	11(11)
2	7月26日(日) 14:00～16:00	マイタウン 白河	ハワクカマイ白 河	講習会「お葬式のマ ナー」	9(9)

(のべ参加人数 20名 うち外国出身者 20名)

### Ⅲ 多様な関係団体と連携した国際交流活動の推進

#### 【目標】

県、市町村や市町村国際交流協会、日本語教室、国際交流・協力団体など国際交流活動を行っている多様な関係団体との調整・連携を一層強化し、国際交流活動が県内各地で展開できるよう環境を整備していく。

#### 【目標指数】

項目	平成 27 年度 目標	平成 27 年度 前期実績(達成率)
外国出身県民にかかわる ものも含めた相談件数	970	388 (40%)
HP トップページ※ アクセス数	123,000	36,011 (30%)

※HP 訪問者数（同じ人が 1 日複数回訪問しても 1 人とカウント） 104,339 人  
（前年同期比 93%）

#### 【事業実績】

##### 1 人材育成やネットワーク化の推進

###### (1) 日本語教室の活動支援

日本語教室メーリングリストを活用し、研修会等の情報提供、外国出身者に対する地域の日本語教室の案内、日本語ボランティアからの教材の相談等に応じた。

###### (2) 市町村国際交流協会等との連携強化

###### 【市国際交流協会ネットワーク会議】

- 日 時：7 月 2 日（木）10:30～15:00
- 場 所：いわき市文化センター
- 参加者：いわき市、会津若松市、郡山市、喜多方市、田村市、南相馬市、伊達市の計 7 市国際交流協会及び南相馬市の国際交流担当部署 計 10 名
- 内 容：（公財）いわき市国際交流協会事務局視察、フェスティバルや日本語教室、海外派遣に関わる事業についての情報交換

###### 【市町村国際交流協会等への訪問】

- 期 間：8 月～9 月
- 訪問先：福島市、いわき市、会津若松市、郡山市、白河市、喜多方市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、鏡石町、北塩原村、山都町、磐梯町、

会津坂下町、棚倉町、泉崎村、中島村、小野町、浪江町、富岡町、大熊町の計 22 市町村国際交流協会

相馬市、須賀川市、本宮市の計 3 市国際交流担当部署

- 内 容：地域の状況把握、当協会事業への理解と協力依頼

【国際交流関係フェスティバル等への出展】

- 名 称：結・ゆい・フェスタ
- 主催者：福島市国際交流協会
- 日 時：9 月 19 日（土）10:30～15:30
- 場 所：福島市アクティブシニアセンターA0Z
- 内 容：当協会事業紹介、翻訳模擬体験など
- 来場者数：800 人

## 2 相談・情報提供

(1) 国際交流に関わる相談対応

- 相談件数：149 件(前年同期比 91%)
- 内訳

相談者 \ 相談内容	協会業務	団体運営	通訳翻訳	人の紹介	国際理解教育	国際化の現状	イベント情報	留学語学	日本語関係	その他	合計
各種団体等	10	4	5	8				1		3	31
行政関係	7	5	8	2	3	2			1	1	29
一般	9		1	1			4	3		6	24
教育関係者	2	3	1		10	1					17
国際交流・協力団体	5	10	1								16
報道関係者	2	1	3	5		2					13
市町村国際交流協会	3	4			1				2		10
県外	4	2	2	1							9
合計	42	29	21	17	14	5	4	4	3	10	149

(2) 広報紙「G y r o (ジャイロ)」の発行

- 発行月：7月
- 仕様：A4判8ページ、表紙・裏表紙カラー刷り、3,000部
- 内容：県内で活躍する外国出身者の紹介、海外で活躍する県民の紹介、当協会平成26年度事業報告など
- 配付先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体ほか

(3) デジタルによる情報提供

IT 専門嘱託員を1名配置し、国際交流に関する情報の提供、中国語版・英語版ホームページにおける外国出身県民に対する防災情報ページの更新、県内日本語教室・国際交流団体等の情報の提供などを、メールマガジン、フェイスブック及びツイッターの活用、ホームページの更新により行った。

- メールマガジン  
登録者数：215名(前年同期比105%)  
発信回数：12回(前年同期度比93%)
- フェイスブック  
登録者数(「いいね!」)：231名  
投稿数319件
- ツイッター  
登録者数(フォロワー数)：30名  
発信数(ツイート数)：174件

### 3 調査研究・提言

---

(1) 日本語教室活動実態調査

県内の日本語教室の開催や運営の状況を調査し、日本語を学びたい外国出身県民や日本語をボランティアで教えたい県民に対し、日本語教室の連絡先、目的、活動状況等の基本情報をホームページに掲載した。また、同調査の際、今後の当協会の運営の参考にするため、当協会への意見なども併せて調査した。

- 調査時期：7月
- 登録団体：32団体(休止中1団体を含む)

(2) 民間国際交流・協力団体活動実態調査

県内の国際交流団体・国際協力団体の活動状況を調査し、国際交流・協力活動に参加したい県民に対し、国際交流団体・国際協力団体の連絡先、目的、活動状況等の基本情報をホームページに掲載した。また、同調査の際、今後の当協会の運営の参考にするため、当協会への意見なども併せて調査した。

- 調査時期：7～8月
- 登録団体：103団体

#### 4 協働事業の推進

---

(1) 国際交流・協力活動への助成

福島県内に団体の所在地があり団体運営に必要な事項を定めた会則等や活動実績を有する非営利の民間団体3団体の3事業に対し、総額30万円の助成を行った。

### IV 世界に向けた福島の発信

**【目標】**

福島県の復興の様子をありのままに発信する。

**【事業実績】**

#### 1 情報の発信

---

(1) 震災復興版ジャイロ『がんばろう福島』の発行

福島県に暮らす外国出身者や県外・海外の外国人に向けて、不必要な不安を取り除き、また、国内、海外からの福島に対する風評を抑えるため、震災復興に向けた取組や県民の声などを、6言語でWEB発行するとともに、紙媒体で3言語版を発行し、福島の復興が進む現状を広く世界に発信した。

**【ホームページ上での発行】**

- 発行回数：月3～4回ブログ発信
- 言語：日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語及びポルトガル語
- 内容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント等

**【印刷物】**

- 発行月：7月
- 発行部数：日本語(2,000部)、中国語(1,000部)、英語(1,000部)
- 仕様：A4判1枚 両面カラー刷り
- 内容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント等
- 配付先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体等

## V その他

### 1 関係機関への講師等派遣

関係機関主催事業に対し、講師等として当協会役職員を派遣した。

No	月 日	主催者	事業名等	役職員名
1	4月1日～	福島県社会福祉協議会	第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま実行委員	専務理事 斎藤 隆
2	4月1日～	福島県社会福祉協議会	第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま専門部会委員	主任主査 幕田順子

### 2 東日本大震災・原発事故被災地視察団の受入れ

#### (1) Japan Society 米国人教員のための日本研修ツアー福島視察

- 主 催：Japan Society(本部：アメリカ)
- 月 日：7月15日(水)～16日(木)(1泊2日)
- 参加者：アメリカの高等学校等教員8名、Japan Society 関係者2名 計10名
- 視察先：浪江町内(駅周辺、鎮魂碑等)、福島市立清明小学校

#### (2) 国際交流サミット大分大会 福島オプションプログラム

- 主 催：公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター
- 月 日：7月13日(月)～15日(水)(2泊3日)
- 参加者：3名
- 視察先：除染情報プラザ、南相馬ソーラー・アグリパーク、相馬市内(公営住宅、防災備蓄倉庫、慰霊碑等)、五色沼自然探勝路、宮泉酒造、会津鶴が城

### 3 その他の受け入れ

#### (1) 福島市「中学生ドリームアップ事業」職場体験活動

- 期間：6月30日(火)～7月3日(金)、7月7日(火)～10日(金)
- 人数：福島市立岳陽中学校2年生2名、福島市立松陵中学校2年生1名、福島市立蓬莱中学校2年生1名 計4名

- 内容：当協会事務所内での各種業務の体験、当協会通訳員へのインタビュー、市内日本語教室への視察等
- (2) 福島市教育委員会西学習センター主催「こども仕事じゅく『国際交流の仕事を学ぼう』」
- 日時：8月6日（木）10:00～11:30
  - 人数：小学4年生4名、5年生4名、6年生3名、引率1名 計12名
  - 内容：「国際交流協会」の仕事についての学習